

令和4年度第1回盛岡広域連携都市圏ビジョン懇談会

次 第

日時：令和4年8月23日（火）10時30分～（11時30分終了予定）

場所：オンライン開催（Zoom）

1 開会

2 挨拶

3 新委員紹介

4 議事

(1) 報告事項

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの取組について

- ・主な成果指標達成状況について
- ・今後検討する事業について

5 その他

6 閉 会

盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員名簿

氏 名	所属・役職等	備考
坂 本 誠 一	公益財団法人岩手県国際交流協会 常務理事	
菅 原 紋 子	有限会社ファーム菅久 常務取締役	
高 橋 宏 昇	ジョブカフェいわて センター長	座長
羽 柴 郁 夫	岩手県農業協同組合中央会 参事	新任
中軽米 昭 彦	一般社団法人八幡平市観光協会 事務局長	
原 子 崇 史	盛岡商工会議所 産業振興部長	
細 川 恵 子	特定非営利活動法人紫波さぷり 理事長	
藤 岡 裕 子	一般社団法人カダル 代表理事	
村 上 大 輔	株式会社北日本銀行 営業統括部副部長	
三 井 康 平	株式会社サステナ 代表取締役	
役 重 眞喜子	岩手県立大学総合政策学部 講師	副座長

※任期 令和4年1月～令和6年1月（2年間）

➤オブザーバー

所属・役職等	氏 名
盛岡広域振興局 特命参事兼企画推進課長	佐々木 ユ カ

➤事務局

職 名	氏 名
市長公室長	岡 市 和 敏
市長公室次長	藤 本 耕 也
都市戦略室長	吉 田 央
都市戦略室主査	阿 部 牧 子
都市戦略室主事	小 嶋 康 之

（敬称略、50音順）

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度取組について

1 主な成果指標の達成状況について

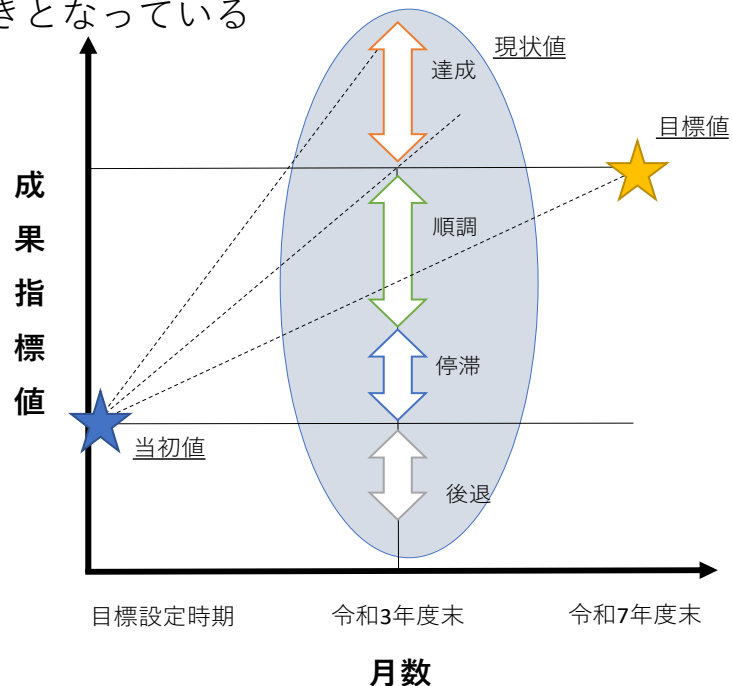
ビジョンに掲載している具体的取組における成果指標の達成状況について、令和4年3月時点の状況をまとめたもの。
成果指標判断については以下に基づき実施。

・上昇指標(↑)

- ◎達成 正の傾きであり、目標値を超えている
- 順調 正の傾きであり、目標値に向かって上昇している
- △停滞 正の傾き(ゼロも含む)であるものの、当初値付近で停滞している
- ×後退 負の傾きとなっている

・維持指標(→)

- ◎達成 目標値を超えている
- 順調 高水準で維持している
- △停滞 低水準で維持している
- ×後退 当初の水準より著しく下降している



※ ただし、事業担当者へヒアリングを実施し、成果指標の適正化を行っている事業もあり。

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

指標数	達成	順調	停滞	後退	■
16指標	1指標	2指標	2指標	0指標	8指標

※事業の中止など、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものを「■」と表記
※未確定3件

➤状況まとめ

観光施策については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目指す成果を達成できていないものが多く、数値についても確定できていないものがある。一方で、産業振興施策については、起業家塾受講後のアンケート調査において新規で起業した者はいなかったものの、広域圏における誘致企業数は順調に推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域経済活動の促進に寄与している。

➤事業分類

- ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備（1指標）
- イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（3指標）
- ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大（4指標）
- エ 戦略的な観光施策（8指標）

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
1-ア	ものづくり人材育成事業	出前講座等の参加企業数（累計）（↑）	平成31年3月末	13社	24	31	61	○順調
1-イ	創業支援事業	起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数(累計)(↑)	令和元年度末	9人	12	12	21	△停滞
1-イ	産学官連携の推進	大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)	令和2年10月末	12件	12	12	16	△停滞
1-イ	圏域市町の連携による企業誘致の推進	圏域市町における誘致企業延べ数(↑)	令和2年10月末	7件	11	17	8	◎達成
1-ウ	盛岡広域まるごとフェア開催事業	まるごとフェアイベント入場者数(↑)	令和元年度末	4,308人	0	0	10,100	■
1-ウ	6次産業化の推進	6次産業化の推進へ向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等（個人起業家含む）の延べ件数(↑)	令和元年度末	14件	16	22	38	○順調
1-ウ	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信	首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)	令和2年度	9回	9	11	27	■
1-ウ	盛岡手づくり村振興事業	盛岡手づくり村来場者数(↑)	令和元年度末	375,531人	156,120	162,308	410,000	■

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の取組について

戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
1-エ	広域観光推進事業	圏域内観光客入込数(↑)	令和元年度末	986万人回	591	未確定	1,028	-
1-エ	国際観光客誘致促進事業	圏域内外国人観光客入込数(↑)	令和元年度末	238,784人回	61,227	未確定	300,000	-
1-エ	M I C E の誘致推進	M I C E 開催助成件数(↑)	令和元年度末	22件	2	2	35	■
1-エ	盛岡広域フィルムコミッション事業	圏域内ロケ支援件数(↑)	令和元年度末	63件	50	33	100	■
1-エ	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業	いわて・盛岡広域観光センター来訪者数(↑)	令和元年度末	37,645人	12,891	15,130	40,000	■
1-エ	教育旅行誘致事業	教育旅行入込客数（学校数）(→)	令和元年度末	1,603校	1,866	未確定	1,600	-
1-エ	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数(→)	令和元年度末	149件	13	24	149	■
1-エ	エコツーリズムの振興	エコツーリズムの振興※該当ページの閲覧件数(↑)	令和2年度末	0件	0	0	100	■

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

指標数	達成	順調	停滞	後退	■
3指標	0指標	3指標	0指標	0指標	0指標

➤状況まとめ

幹線道路の整備については、計画どおりに推移している。広域交通の中心拠点となる盛岡バスセンター整備事業については、令和4年度の開業に向けて整備を行っているところであり、これに伴う運行ルート等の変更や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、発着便数は減少している。

➤事業分類

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築（3指標）

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
2-ア	盛岡バスセンター整備事業	盛岡バスセンターからのバス発着便数(→)	令和元年度末	1,515便	1,472	1,466	1,515	○順調
2-ア	幹線道路整備事業（津志田白沢線）	津志田白沢線の整備予定区間（第1工区）内の供用延長距離(↑)	令和元年度末	0m	150	150	300	○順調
2-ア	幹線道路整備事業（市道谷地頭線外1路線（厨川工区））	市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道（北側）の供用延長距離(↑)	令和元年度末	0m	0	0	435	○順調

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

指標数	達成	順調	停滞	後退	■
27指標	6指標	12指標	3指標	0指標	5指標

※未確定1件

➤状況まとめ

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や研修等の開催に係る事業について成果指標の達成が困難であり、就職面接会の参加者や東日本震災周年の行事参加者は当初値を下回る結果となった。一方で、移住ツアーの予定を変更して実施した盛岡市内のまち歩きガイド参加者数は移住ニーズの高まりなどにより増加したほか、ジョブカフェいわての利用者数も増加した。さらに、盛岡広域成年後見センターの相談件数や障がい者相談支援件数なども順調に推移している。また、配偶者暴力相談支援センター広域連携事業に係る相談件数や岩手県央へい獣処理協議会事業に係る施設利用頭数については、成果指標設定時値より現状値が減少しているが、数値が上がることで必ずしも圏域のサービス向上につながるものではなく、求められるサービスの提供が十分なされており、施設として機能していることから順調であると判断した。

➤事業分類

- ア 生活機能の強化に係る政策分野（20指標）
- イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野（4指標）
- ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野（3指標）

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
3-ア	盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討	盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）	令和元年度末	4件	4	4	5	○順調
		盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）	令和元年度末	11件	11	11	12	○順調
3-ア	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム登録延べ件数（↑）	令和元年度末	805件	965	1,093	1,765	○順調
3-ア	保育所の広域入所	盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合（↑）	令和2年度	74.2%	74.2	74	77.4	△停滞
3-ア	配偶者暴力相談支援センター 広域連携事業	配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）	令和元年度末	1,111件	910	1,015	1,100	○順調
		人権出前講座受講者数（→）	令和元年度末	659人	460	749	700	◎達成
		人権出前講座回数（広域7市町）（→）	令和元年度末	4回	3	6	4	◎達成
3-ア	盛岡広域成年後見センター設置運営事業	盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数（↑）	令和元年度末	566件	1,063	1,404	1,168	◎達成
		市民後見人養成講座修了者数（累計）（↑）	令和元年度末	147人	174	201	274	○順調
3-ア	障がい者相談支援事業	障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）	令和元年度末	5,251件	5,456	5,272	5,200	◎達成
		計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）	令和元年度末	4,248人	4,393	未確定	4,803	-

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
3-ア	スポーツパル推進事業	スポーツパル会員数(↑)	平成30年12月末	527人	2,349	2,654	10,000	△停滞
3-ア	もりおか就職面接会等	もりおか就職面談会への参加者数(↑)	平成29年度	305人	80	76	310	■
3-ア	若者の就業支援事業	ジョブカフェいわての利用者数(→)	令和元年度末	58,171人	73,207	76,051	55,000	◎達成
		もりおか若者サポートステーションに新規登録した盛岡市民のうち就職決定したものの割合(↑)	令和元年度末	58.8%	51.3	55.4	62.9	△停滞
3-ア	自然災害等対策推進事業	災害用非常食糧の備蓄数(↑)	令和元年度末	59,370食	67,850	65,527	87,000	○順調
3-ア	震災対応事業	東日本大震災周年行事の参加者数(→)	平成30年3月末	2,600人	900	1,400	2,600	■
3-ア	南岩手山岳遭難対策事業	南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数(→)	令和元年度末	64人	14	30	50	■
3-ア	岩手県央へい獣処理協議会事業	岩手県央へい獣処理施設施設利用頭数(→)	令和元年度末	825頭	855	817	825	○順調
3-ア	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業	有害捕獲に係る研修受講者数(↑)	令和元年度末	25人	27	59	30	◎達成

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

事業一覧		指標名	当初値		令和2年度末	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和7年度)	達成状況
分類	事業名		設定時期	値				
3-イ	インターンシップ事業	インターンシップへの参加事業者数(↑)	令和元年度末	55企業	39	50	120	■
3-イ	盛岡広域移住・定住促進事業	移住ツアーの延べ参加者(↑)	令和元年度末	0人	0	27	100	○順調
3-イ	消費者行政の共同実施	圏域の消費生活相談における解決率(↑)	令和元年度末	98.5%	98.6	98.7	99	○順調
3-イ	電子入札等基盤整備事業	入札参加資格申請の電子化率(↑)	令和元年度末	98%	98.4	98.4	100	○順調
3-ウ	人材の育成	広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	令和元年度末	8.7件	9.6	9	9	○順調
3-ウ	圏域内市町村の職員等の交流	広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	令和元年度末	8.7件	9.6	9	9	○順調
3-ウ	国保盛岡地区協議会事業	国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数(↑)	令和元年度末	295件	0	37	332	■

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

2 今後検討する事業について

「今後検討する事業」として掲載している8事業については、担当部局間で調査研究や道路整備に向けた要望活動等を進めた。

戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

事業一覧		R3検討結果	事業実施判断	(参考) R4状況
分類	事業名			
1-ア	新しい生活・産業様式に対応するための調査研究事業	国のデジタル田園都市国家構想の実現を見据え、各市町の取組状況について情報共有を図りながら、広域連携による展開の可能性について調査研究を行う。	引き続き検討を行う。	県のDX専門官による勉強会を実施するなど情報共有を行っている。
1-イ	国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため、情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。	引き続き検討を行う。	市民向け講演会や議員・職員向け勉強会の開催などを広域7市町と連携して実施できるよう検討する。

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

事業一覧		R3検討結果	事業実施判断	(参考) R4状況
分類	事業名			
2-ア	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	ＩＣカードの導入については、令和3年度に岩手県北自動車及びＪＲバス東北の市内乗入路線の全て、岩手県交通の一部路線の交通系ＩＣカード導入事業に対する補助を実施し、令和4年度以降も岩手県交通の残りの路線に順次導入するため支援を検討している。 現時点で、バス事業者、鉄道事業者、タクシー事業者の市内乗入路線の全てにＩＣカードが導入されていないことから、具体的な検討には至っておらず、今後もＩＣカードの普及に向け支援を行うとともに、継続してデータ活用による運行改善や割引制度などについて事業者等を交え調査研究を行う。	引き続き検討を行う。	岩手県交通の路線バスにかかるＩＣカードの導入を優先して進めている。
2-ア	北岩手・北三陸横断道路の整備促進	北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会が主体となり、当該路線の整備促進に向けた要望活動を展開してきたところである。 令和3年6月に「岩手県新広域道路交通計画」が策定され、当該路線においては、高規格道路としての役割が期待されるものの、個別路線として調査には着手していない「構想路線」として、「（仮称）久慈内陸道路」の名称により、北岩手・北三陸を横断する道路構想が道路交通計画に位置付けられたところである。 この進展は、当同盟会による活発な要望活動が功を奏したものであり、次の段階となる路線の調査など早期着手について、関係機関に対し要望活動を精力的に実施する。	引き続き検討を行う。	期成同盟会により6月に国土交通大臣へ要望活動を行ったほか、関係団体等への要望を進める。

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

事業一覧		R3検討結果	事業実施判断
分類	事業名		
2-ア	盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	国道46号西廻りバイパスについては、国土交通省東北地方整備局から令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けられたところであり、今後さらに事業進捗が図られるものと考えているが、2車線供用区間の4車線化の整備促進を継続して要望する。 北進計画については、令和3年度から国が開催している盛岡都市圏道路の勉強会の中でも話題として挙げられているが、現時点では構想路線の段階であり具体的なルートも決まっていないと伺っているところであり、今後も早期整備について継続して要望を行う。	引き続き検討を行う。
2-ア	一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進	盛岡南道路については、国において平成30年度から令和元年度までの計画段階評価、令和2年度の都市計画を進めるための調査を経て、令和3年度には都市計画決定に係る手続きを進めていると伺っている。盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の事業化及び整備促進について今後も継続して要望を行う。	引き続き検討を行う。

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの令和3年度の実施について

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

事業一覧		R3検討結果	事業実施判断	(参考) R4状況
分類	事業名			
3-イ	地方創生SDGs推進調査研究事業	盛岡市と岩手県立大学との協働研究により、「盛岡広域（地域創生SDGs登録制度）に係るフィージビリティ・スタディ」を実施し、地方創生SDGs登録・認証等制度先行事例調査及び地方金融機関の取組内容調査を行い、内容を共有した。 令和4年度は、令和3年度の研究において抽出された、事業実施に向けた制度構築上の課題の解消及び関係機関と連携した体制整備について引き続き検討する。	引き続き検討を行う。	盛岡市と岩手県立大学との協働研究により制度構築上の課題の解消及び関係機関と連携した体制整備を検討している。
3-イ	デジタル化推進調査研究事業	国のデジタル田園都市国家構想の実現を見据え、各市町の取組状況について情報共有を図りながら、広域連携による展開の可能性について調査研究を行う。	引き続き検討を行う。	県のDX専門官による勉強会を実施するなど情報共有を行っている。